

●平成28年度加速化交付金 森の京都DMO事業

K P I	(目標) 観光入込客数 816,000人 ⇒ (結果) 922,951人
-------	--------------------------------------

No.1

事業名	「森の京都 福知山」全国育樹祭記念事業		
担当課	農林商工部 農林管理課		
予算額	5,950千円		
1 事業の背景・目的	<p>平成28年秋季に府内で開催される「第40回全国育樹祭」の記念イベントとして、福知山市三和町の長田野工業団地アネックス京都三和で開催される「森林・林業・環境機械展示実演会」への来場者をもてなすため、歓迎アトラクション、特産品等の物品販売や展示を実施する。</p>		
2 事業の内容	<p>来場者への「おもてなし」事業実施に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歓迎アトラクション ・ 物販及び展示 		
決算額	需用費 138,164円 (消耗品費等) 役務費 1,640円 (手数料) 委託料 397,885円 (会場設営業務委託料) 負担金 5,000,000円 (「森の京都博」負担金)		計 5,537,689円
3 事業の成果	<p>全国65社の林業機械メーカーが約500台の機械を出展し、森で働く最新機械の展示と実演会を行うと共に、歓迎アトラクションの実施、地元福知山市の特産物が盛り沢山の物販や飲食コーナーも出店し、市内外から2日間で延べ約17,200人の方に来場いただき、盛大にイベントが開催できた。</p>		
4 課題	<p>開催場所(長田野工業団地アネックス京都三和)の事前調整や、イベント終了後の道路清掃等の指示に行き違いが生じたこともあり、同規模のイベント開催するときには京都府等関係機関との連携を密にする必要がある。</p>		
5 H29年度以降の予定	<p>全国持ち回りによる開催であるため、当面の間は予定なし。 ※平成29年度は香川県で開催。</p>		
担当課による評価	A (非常に効果があった)		

No.2

事業名	「森の京都」DMO事業	
担当課	農林商工部 農林管理課	
予算額	4,500千円	
1 事業の背景・目的	<p>京都府、市町、地域住民で進めている「森の京都」を地域の総力を集結し、効果的かつ強力に推進するため、地域資源等の販売、観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総合的に行う。</p>	
2 事業の内容	<p>森の京都DMOを設立する。</p>	
決算額	負担金 4,500,000円（「森の京都DMO」設立負担金）	計 4,500,000円
3 事業の成果	<p>海の京都DMOで培った法人設立のノウハウをもとに、平成29年3月23日、森の京都の事業規模に合った組織づくりに向け関係機関が連携し法人設立に至った。</p>	
4 課題	<p>森の京都DMO設立に向けた市町負担金であったが、その活動内容が市町には見えにくいところがあった。</p> <p>法人の設立が平成29年3月末であったため、当該年度においては波及効果が実感できるところまでは至っていない。</p>	
5 H29年度以降の予定	<p>インバウンドによる集客、観光地域づくりという観点から、海の京都DMOと共にまちづくり観光課に所管替えを行い事業を進める。</p> <p>（森の京都DMOによる主な取組予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森の京都づくりの起爆剤となる「森の京都博」に関する情報発信 ・観光地域づくりに必要な人材の発掘・育成等（ガイドの養成） ・着地型・体験型商品等の開発・販売（修学旅行生等の農家民宿等） ・地域資源等（木工製品・工芸品等）の販売・プロモーション ・地域資源を活用した新ビジネスの創出 <p style="text-align: right;">等</p>	
担当課による評価	C（効果があった）	

No.3

事業名	「森の京都 福知山」夜久野高原・道の駅支援事業	
担当課	地域振興部 夜久野支所	
予算額	1,000 千円	
1 事業の背景・目的	<p>夜久野高原は、京都府唯一の火山である宝山の噴火により形成された溶岩台地であり、風光明媚で史跡にも恵まれ、その中には観光拠点となる道の駅「農匠の郷やくの」がある。</p> <p>この夜久野高原や道の駅の情報を地域内外へ発信し、集客と住民交流を促進するイベントや道の駅の取組に対して支援を行う。</p>	
2 事業の内容	<p>実行委員会や連絡協議会に対して、事業実施における補助金を交付する。</p> <p>(1) やくの高原まつりへの補助 640 千円</p> <p>(2) 夜久野農林商工祭への補助 180 千円</p> <p>(3) 道の駅農匠の郷やくの連絡協議会の活動補助 180 千円</p>	
決算額	<p>(1) やくの高原まつり実行委員会 640千円 (全体事業費 3,941,971円)</p> <p>(2) 夜久野農林商工祭実行委員会 180千円 (全体事業費 196,104円)</p> <p>(3) 道の駅農匠の郷やくの連絡協議会 180 千円 (全体事業費 301,425 円)</p> <p style="text-align: right;">計 1,000,000 円</p>	
3 事業の成果	<p>(1) やくの高原まつり</p> <p>地元の若者を中心に積極的に広報活動に取組、16,000人の集客があった。地元の方のステージや地元の学生を含む多くのボランティアスタッフの協力も得て、多くの市民と連携協力できた。</p> <p>(2) 夜久野農林商工祭</p> <p>農・林・商・工がそれぞれ特色を活かしたイベントが実施でき、雨天ではあったが、多くの来場者 (5,600人) で終日にぎわった。</p> <p>(3) 道の駅農匠の郷やくの連絡協議会</p> <p>施設のパンフレットや体験チラシを作成し、学校や保育園へ配布したり、近隣の道の駅などにも配置したことで、新規の利用者が増えた。</p>	
4 課題	<p>(1) やくの高原まつり 資金面を実施団体の努力で補えるような仕組みづくり。</p> <p>(2) 夜久野農林商工祭 実施団体との連携強化、事業内容の検討、出店団体の高齢化。</p> <p>(3) 道の駅農匠の郷やくの連絡協議会 自主イベントの実施ができなかった。</p>	
5 H29 年度以降の予定		

<p>(1) やくの高原まつり 開催日時： 平成29年8月26日(土)、27日(日) 補助金額： 576千円 実行委員会が人的・経済的に自立できるように支援していく。</p> <p>(2) 夜久野農林商工祭 開催日時： 平成29年11月19日(日) 補助金額： 162千円 地域振興を進めるため、農林商工団体や各組織との連携を図る。</p> <p>(3) 道の駅農匠の郷やくの連絡協議会 補助金額： 0円 道の駅「農匠の郷やくの」の課題等について、協議し取り組むため、各施設からの会費により活動する。</p>	
担当課による評価	C (効果があった)

No.4

事業名	「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサート事業	
担当課	地域振興部 夜久野支所	
予算額	800 千円	
1 事業の背景・目的	<p>京都府指定文化財（天然記念物）に指定され、京都府景観資産にも登録されている玄武岩公園は、宝山の噴火によって流出した溶岩が固まる時に形成された六角形の柱状節理が見られる施設で、夜間はライトアップされ、幻想的な空間となる。</p> <p>ここに特設ステージを設置し、ライトアップされた空間において夜久野高原玄武岩コンサートを行うことにより、やくの玄武岩公園の魅力を広くPRし、観光客及び交流人口の増加を図る。</p>	
2 事業の内容	<p>「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサートを実施する団体に補助金を交付する。夜間はライトアップされ、幻想的な空間となる玄武岩公園に特設ステージを設置し、コンサートを中心としたステージイベントを実施。夜久野の大自然の中でゆったりとした時間をすごしていただくため、森のレストランとして模擬店やキャンドルアートなどもある。</p>	
決算額	夜久野高原玄武岩コンサート事業	800 千円（内訳：補助金）
	事業実施主体	ときめき会
		計 800,000 円
3 事業の成果	<p>玄武岩公園のある小倉地域の有志による模擬店やステージもあり、地域内外からの来場者との交流が図れ、900 人の来場者にやくの玄武岩公園の魅力を知ってもらえた。</p> <p>ジャズを中心とした魅力あるイベントであり、来場者の評価はよかった。</p> <p>屋外イベントであり、天候（雨）に左右され思うような集客には至らなかった。</p>	
4 課題	<p>より多くの集客・交流人口の増加を図る為のPR・広報活動に力を入れる必要がある。</p>	
5 H29 年度以降の予定（実績）	<p>開催日時： 平成 29 年 5 月 27 日（土）午後 2 時～9 時</p> <p>補助金額： 600 千円（全体事業費 697,707 円）</p> <p>入込客数： 850 人</p> <p>森の京都イベントとして計画の3年間が終了し、平成 30 年度以降市の補助金事業として開催するには新たな展開（地元への経済効果等）が必要と考える。</p> <p>補助金の額も一定額ではなく、全体事業費の一定比率とし実施団体の自助努力を促していく。</p>	
担当課による評価	C（効果があった）	

No.5

事業名	「森の京都 福知山」丹波漆振興事業	
担当課	地域振興部 夜久野支所	
予算額	198 千円	
1 事業の背景・目的	<p>現在、全国的に文化財建造物の修復等に必要な国産漆の生産量が激減しており、国産漆に対する需要が高まっている。</p> <p>このような社会的背景を受け、夜久野地域で伝統のある丹波漆の基盤づくりを進めるために、漆の生産拡大を支援する。</p> <p>また、文化芸術振興協定を締結している「京都美術工芸大学」からインターンシップを受け入れ、地域資源と学術資産を提供し合い、特色ある地域づくりや伝統産業、工芸の技術向上をめざすとともに、体験実習等を通じて丹波漆の魅力を発信する。</p>	
2 事業の内容	<p>(1) 丹波漆生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波漆苗木の植栽 <p>(2) 丹波漆のインターンシップ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ学生就業体験講師謝礼 ・インターンシップ学生就業体験用資材 ・インターンシップ学生就業体験施設使用料 	
決算額	報償費 38,800円 (講師謝礼) 需用費 107,308円 (体験資材、丹波漆苗木) 使用料及び賃借料 16,200円 (施設使用料)	計 162,308円
3 事業の成果	<p>丹波漆の生産拡大には、漆の植栽が必要であり、1000本を目標に植栽をすすめている。平成28年度には71本の漆の苗木を植樹し、計734本(H28.12現在)となった。</p> <p>また、京都美術工芸大学の学生に漆苗畑及び植栽地の除草作業や漆の精製、漆塗りなどの体験実習を通じて、丹波漆の魅力を感じてもらえた。</p>	
4 課題	<p>丹波漆の植栽に適する植栽地確保が課題となっている。</p>	
5 H29年度以降の予定	<p>「丹波漆」を福知山市のブランドとして、この魅力を全国に発信し、文化の継承とともに生産・流通・販売等、産業として育成する手法を調査・研究する。</p>	
担当課による評価	C (効果があった)	

No.6

事業名	「森の京都 福知山」元伊勢内宮参道マルシェ事業	
担当課	地域振興部 大江支所	
予算額	800 千円	
1 事業の背景・目的	<p>平成25年の台風18号水害により、壊滅的打撃を受けた大江地域の住民に少しでも元気とやる気を出してもらうため、「大江元気プロジェクト」を結成。かつて門前町として栄えた内宮地内で地域資源を生かした賑わいの復活、観光誘客を目指し、地域の活性化を図る「元伊勢内宮参道マルシェ」を開催する団体を支援していく。</p>	
2 事業の内容	<p>「森の京都 福知山」として、集客を高めるため、会場への輸送手段であるシャトルバスの運行、広報宣伝費用、観光ツアーガイド経費、会場内仮設トイレ設置費用、屋号名を書いた行灯づくり費用等の助成を行う。</p>	
決算額	交付金 800,000 円	計 800,000 円
3 事業の成果	<p>天候に恵まれ、96店舗の出店も相まって、4,000人の集客があり、参道内は賑わいを見ることができた。</p> <p>また、駐車場不足の解消と公共交通利用促進のため、京都丹後鉄道の利用をSNS等でPRしたが結果、京都丹後鉄道の乗車率アップに一定の効果が見られ、今後の駐車場不足の方向性を見い出すことができた。</p>	
4 課題	<p>96店舗という多くの出店があったが、飲食関係が半分を占めたことで、お客の滞在時間が短く、地域の魅力が十分に伝わらなかった。</p> <p>今後、飲食とクラフト（手芸品）との割合を見直し、滞在時間を長くすることで内宮周辺の良さをもっと知ってもらうことが課題である。</p>	
5 H29年度以降の予定	<p>補助金等に頼らない自主運営を目指しており、助成額を減額、H29年度は、一部補助の334千円とし、H30年度からは完全に助成金をカットしていく。</p> <p>また、将来的には、機運を高めつつ、地元主体へと展開を図っていく予定である。</p>	
担当課による評価	B（相当な効果があった）	

No.7

事業名	「森の京都 福知山」児童絵画展示事業	
担当課	農林商工部 農林管理課	
予算額	470 千円	
1 事業の背景・目的	<p>府内を会場に「第40回全国育樹祭」が開催される平成28年秋季をターゲットイヤーとして、市内の小学生を対象に「森に親しむ」、「緑化」をテーマとした絵画を募集し、森の大切さを広くPRする。</p>	
2 事業の内容	<p>児童絵画展の実施。 平成28年5～6月募集、8月審査、10月作品展示（森林・林業・環境機械展示実演会にて展示予定）</p>	
決算額	<p>需用費 75,600 円（消耗品費等） 委託料 87,214 円（会場設営業務委託料）</p>	計 162,814 円
3 事業の成果	<p>平成28年秋季に府内で「第40回全国育樹祭」の記念イベントとして、福知山市三和町の長田野工業団地アネックス京都三和で開催された「森林・林業・環境機械展示実演会」において作品展示を行い、目的としていたテーマを広くPRできた。</p>	
4 課題	<p>特になし。</p>	
5 H29年度以降の予定	<p>平成28年度は全国育樹祭のため本事業で実施したが、例年は福知山緑化推進委員会事業として実施しているものであり、平成29年度以降も引き続き同様の事業を実施する。</p>	
担当課による評価	C（効果があった）	

No.8

事業名	「森の京都」酒呑童子と金太郎展開催事業
担当課	教育委員会 生涯学習課
予算額	800 千円
1 事業の背景・目的	「森の京都 福知山」関連事業として酒呑童子退治で活躍した坂田公時（金太郎）にスポットをあてて展示を実施。
2 事業の内容	日本の鬼の交流博物館において秋季特別展（11月8日～12月18日）として実施した。
決算額	報償費 10,000 円(講師謝礼) 旅費 304,320 円(資料調査旅費、展示物借用・返却旅費) 需用費 334,205 円(消耗品費、燃料費、ポスター・チラシ・図録印刷費) 使用賃借料 150,592 円(レンタカー・高速道路使用料、案内看板賃借料) <div style="text-align: right;">計 799,117 円</div>
3 事業の成果	全国各地の金太郎にまつわる資料の展示及び資料集成ができたとともに、来館者の理解も高まり「森の京都 福知山」関連事業として福知山市のPRに貢献することができた。 来館者：955 人
4 課題	集約した資料の公開と情報提供に努めたい。
5 H29 年度以降の予定	実施予定なし。
担当課による評価	B（相当な効果があった）

●平成28年度加速化交付金 京都府北部地域連携都市圏広域観光推進事業
(海の京都DMO地域活性化推進)

K P I	(目標) 観光入込客数 816,000人 ⇒ (結果) 922,951人 (目標) デザイン列車の利用者数増 5,880人 ⇒ (結果) ▲34,652人
-------	--

No.9

事業名	海の京都DMO事業	
担当課	地域振興部 まちづくり観光課	
予算額	12,390千円	
1 事業の背景・目的	平成28年6月に設立された、『一般社団法人京都北部地域連携都市圏振興社(以下「海の京都DMO」)』の広域観光を推進する取組により、地域の活性化を図るとともに当地域を全国有数のブランド観光圏にすることを旨とする。	
2 事業の内容	<p>「海の京都DMO」の事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科学的なアプローチによるCS調査やマーケティング調査事業 ・ 戦略策定、着地型旅行・体験型商品等造成・販売促進、物産等物販事業 ・ インバウンド推進事業 ・ 人材育成・確保、地域づくり事業 ・ 情報発信・プロモーション事業 等 	
決算額	「海の京都DMO」に対する負担金 12,390千円	計 12,390,000円
3 事業の成果	<p>「海の京都DMO」に参画する自治体等と連携し、旅行書籍の発刊や、旅行展示会への出展を行い、当地域を広域にプロモーションした。</p> <p>また、海外の旅行社やメディアの招待旅行を行い、外国人旅行者の来訪を促進した。</p> <p>さらに、着地型旅行商品や体験プログラムを地域内で200件作り、インターネットの予約サイトで販売を開始した。</p>	
4 課題	観光入込客数の増加にどの程度寄与したかは測れていない。	
5 H29年度以降の予定	「海の京都DMO」は、当地域の観光地域づくりの総合プロデューサーとして、引き続き関係組織と連携した観光振興を推進することとしており、本市としても「海の京都DMO」に参画する社員としてこの事業の推進に関係自治体等と連携して取り組む。	
担当課による評価	C (効果があった)	

No.10

事業名	福知山お城まつり支援事業	
担当課	地域振興部 まちづくり観光課	
予算額	3,168 千円	
1 事業の背景・目的	<p>まちなかの賑わいを創出するとともに、本市のシンボルであり北近畿で唯一天守閣を有する戦国武将明智光秀ゆかりの「福知山城」を全国にPRし、観光客の誘客促進につなげる。</p>	
2 事業の内容	<p>福知山城や御霊神社周辺で福知山お城まつり（2日間）を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞殿ステージ（2日・3日） ・食の祭典（2日・3日） ・福知山踊りパレード（2日）総勢約420名による福知山踊り。 ・光秀行列（3日） ・光秀忍たま武道大会（3日のみ） ・ご当地キャラクター大集合2016（2日・3日） 等 	
決算額	福知山お城まつり実行委員会に対する補助金 3,168 千円	計 3,168,000 円
3 事業の成果	<p>福知山の春を代表するイベントとして定着し、家族連れらを中心に11,000人が訪れた。光秀行列では、平成23年～25年度に実施した「平成の城下町福知山賑わいづくり事業」で結成された「丹波福知山手づくり甲冑隊」（隊員28名）が参加し、祭りを盛り上げるなど、これまで積み上げてきたものが、現在につながっている。</p>	
4 課題	<p>近隣の自治体で行われているイベントとの連携や、より多くの市民の参加を促進するようなイベント内容を検討していく必要がある。</p> <p>また、市からの支援（補助金）に頼らない運営のあり方についても、実行委員会において検討していく必要がある。</p>	
5 H29年度以降の予定	<p>実行委員会において、同時期に開催される近隣市町のイベントとの連携や「福知山城」、「明智光秀」を全国に向けて発信できるような取組を検討していく。</p>	
担当課による評価	B（相当な効果があった）	

No.11

事業名	スイーツフェスティバル事業
担当課	地域振興部 まちづくり観光課
予算額	1,200 千円
1 事業の背景・目的	<p>スイーツを扱う店が多い本市の特徴を生かして本市への誘客を促進、活性化を図るために、「お城とスイーツのまち福知山」として、福知山スイーツの魅力を発信し、観光誘客の促進につなげる。</p>
2 事業の内容	<p>本市のスイーツが一堂に会する「スイーツフェスティバル」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内外の菓子店を集めたスイーツの販売 ・スイーツデコ作り体験 ・市内高等学校のオリジナルスイーツ販売 ・姉妹都市長崎県島原市、観光友好都市静岡県小山町のスイーツ販売 ・「お茶席」、「ふくちやま茶のおいしい淹れ方教室」、「スイーツづくり教室」 等
決算額	<p>「スイーツフェスティバル実行委員会」に対する交付金 1,200 千円 計 1,200,000 円</p>
3 事業の成果	<p>来場者数は年々増加し、市内外から幅広い年齢層が来場しているため、「お城とスイーツのまち福知山」として福知山スイーツの魅力発信とともに、本市の観光誘客につながっている。</p> <p>自社商品のPRにつながる等、出店者の満足度は非常に高く、継続開催の希望が多い。</p>
4 課題	<p>イベント会場だけでなく来場者を市内観光に誘導する仕掛けや、より魅力的なイベントにするために、出店者からの意見やアイデアを取り入れることが必要。</p> <p>また、菓子店の組織化等による民間団体を中心とした継続的な事業展開が必要。</p>
5 H29 年度以降の予定	<p>福知山スイーツの魅力を発信し、「お城とスイーツのまち福知山」として、観光誘客の促進につなげていくことができる事業のため、継続して実施する。</p> <p>催事に出席している店舗の意見等を取り入れるため、企画段階から事業者を参加させる必要があることから、実行委員会組織団体の事務局のほか、市内の菓子店と企画内容等について協議する場を設け、連携して運営を行うことで、より魅力的な事業の実施につなげる。</p>
担当課による評価	B (相当な効果があった)

No.12

事業名	K T R 支援事業
担当課	市民人権環境部 生活交通課
予算額	16,418 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>京都丹後鉄道に対し、京都府・沿線自治体と連携して、安全運行に必要な基盤の維持と沿線地域の活性化、交流の拡大を促進するための支援を行う。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>特急車両（ディスカバリー）は導入から約 20 年が経過し劣化が激しいため、安全・快適に運行するために必要な改修と、併せて観光客誘客を図るためデザイン車両に改修を行う経費を、京都府をはじめ沿線自治体と協調し支援する。</p>	
決算額	<p>補助金 16,325,000 円〔北近畿タンゴ鉄道(株) (KTR) への補助金〕</p> <p style="text-align: right;">計 16,325,000 円</p>
<p>3 事業の成果</p> <p>特急車両の改修に必要な経費を KTR に支援することにより、地域住民の安心・安全な生活路線を確保することができた。</p> <p>また、デザイン車両化できたことで、観光客誘客の足がかりとなった。</p> <p>4 課題</p> <p>運行に必要な改修と併せてデザイン車両の改修を行い、名称も「ディスカバリー」から「丹後の海」に変更し、「海の京都」のシンボル列車として運行しているが、利用者数増になっていないため、利用者数の増加に向けた取組みが必要である。</p> <p>5 H29 年度以降の予定</p> <p>H29 で 5 編成 10 両すべてのディスカバリー車両の改修が完了する。</p>	
担当課による評価	C (効果があった)

●平成28年度加速化交付金 京都府北部地域連携都市圏 地（知）の拠点推進事業

K P I	（目標）産学官連携による新商品等開発件数 5件 ⇒（結果）0件
-------	---------------------------------

※経済産業省によるローカルイノベーションプロジェクトにおいて福知山公立大学が参画する4件の事業が登録されており、現在事業推進中である。

No.13

事業名	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業（北近畿地域連携センター設置運営）		
担当課	市長公室 大学政策課		
予算額	23,730千円		
1 事業の背景・目的	<p>福知山公立大学の開学に合わせ、北近畿地域の自治体や地域住民、行政機関、金融機関、他大学、企業、各種団体等と連携・協働拠点である北近畿地域連携センターの機能構築と確立に向け、施設改修等や地域連携及び地域活性化のための事業展開を支援します。</p>		
2 事業の内容	<p>（1）ハード事業 北近畿地域連携センター改修工事（施設改修及び施設備品購入） （2）ソフト事業 教育研究プロジェクト 外</p>		
決算額	<p>（1）ハード事業 北近畿地域連携センター改修工事（施設改修及び施設備品購入） 10,715,644円</p> <p>（2）ソフト事業 地域連携型研究プロジェクト支援事業 外 13,014,356円</p>		計 23,730,000円
3 事業の成果	<p>北近畿地域連携センターが、地域住民や企業等に広く活用いただける市民活動の場として、連携の相談窓口となるための施設改修を行ったことで、福知山公立大学のPRにつながった。また地域と連携した協働研究プロジェクトなどを通じて、地域や企業が抱える諸問題の解決のために、大学が持つ知見を活用する機会を創出するなど、地域に根付いた活動を実践した。</p>		
4 課題	<p>北近畿地域連携センターの改修工事の完成が当初予定より遅れたことで、平成28年度内に、地域住民等に活用いただくことができなかった。</p>		
5 H29年度以降の予定	<p>北近畿地域連携センターを地域住民や様々なセクターが協働するための窓口として、利用促進を促すため広く周知を行い、連携の窓口とする。また、利用していただきやすい環境を構築するため、ワークショップスペース等の整備を行う。</p>		
担当課による評価	B（相当な効果があった）		

●平成28年度加速化交付金 京都府北部地域連携都市圏移住・定住プロジェクト

K P I	（目標）定住世帯数（定住担当課扱い）世帯／年 10世帯⇒（結果）23世帯
-------	--------------------------------------

No.14

事業名	移住・定住促進事業																		
担当課	地域振興部 移住・企業立地推進課																		
予算額	7,652千円																		
1 事業の背景・目的	<p>全国的な少子高齢化や人口減少により、地域経済の衰退をはじめ、担い手不足や地域活力の低下など様々な課題が山積している。このような中、住み続けたい、守り続けたいと思えるような地域づくりを進めるとともに、若年層や子育て世代等の移住を促進し、定住人口及び交流人口の増大による地域振興を図る。</p>																		
2 事業の内容	<p>移住者受入に向けた地域側の受入態勢を整備し、意識醸成を図るため、地域情報誌の作成や地域側移住相談窓口の設置に向けた取組を行う。</p> <p>また、本市を移住候補地として認知いただけるよう、東京・大阪などの都市部でブース出展を行うとともに、移住情報誌を作成し、本市の魅力など広くPRを行う。</p>																		
決算額	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">賃金</td> <td>1,214,400円（臨時職員賃金）</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>65,000円（セミナー講師謝礼）</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>201,100円（移住セミナー等）</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>752,942円（リーフレット、事務用消耗品等）</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>64,864円（情報誌デザイン作成等）</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>170,444円（地域情報誌作成）</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>140,400円（ブース出展）</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>4,397,000円（北部地域連携都市圏形成推進協議会）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">計 7,006,150円</td> </tr> </table>	賃金	1,214,400円（臨時職員賃金）	報償費	65,000円（セミナー講師謝礼）	旅費	201,100円（移住セミナー等）	需用費	752,942円（リーフレット、事務用消耗品等）	役務費	64,864円（情報誌デザイン作成等）	委託料	170,444円（地域情報誌作成）	使用料及び賃借料	140,400円（ブース出展）	負担金	4,397,000円（北部地域連携都市圏形成推進協議会）	計 7,006,150円	
賃金	1,214,400円（臨時職員賃金）																		
報償費	65,000円（セミナー講師謝礼）																		
旅費	201,100円（移住セミナー等）																		
需用費	752,942円（リーフレット、事務用消耗品等）																		
役務費	64,864円（情報誌デザイン作成等）																		
委託料	170,444円（地域情報誌作成）																		
使用料及び賃借料	140,400円（ブース出展）																		
負担金	4,397,000円（北部地域連携都市圏形成推進協議会）																		
計 7,006,150円																			
3 事業の成果	<p>移住セミナー等でのブース出展、移住情報誌の作成、移住者のライフスタイルを掲載したリーフレット配布等により、移住を検討している全国の方に本市を認知いただくきっかけとなった。また、既に本市を移住候補地として検討いただいている方には、より詳しい地域情報や本市でのライフスタイルを提供できた。</p>																		
4 課題	<p>近畿圏以外での認知度が低いため、まずは本市を知っていただき、移住候補地として検討いただけるよう、効果的な情報発信を行うことが課題である。</p>																		

◆平成28年度推進交付金 地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業

K P I	(目標) 観光消費額 2,020,500 千円 ⇒ (結果) 2,095,285 千円 (目標) 中心市街地歩行者・自転車通行量 4,532 人 ⇒ (結果) 3,700 人 (目標) テナントミックス事業開設店舗数 2 店 ⇒ (結果) 5 店
--------------	---

No.16

事業名	商店街等振興事業
担当課	農林商工部 産業振興課
予算額	1,660 千円
1 事業の背景・目的	商店街は経営者の高齢化や後継者の不在などに起因した空き店舗の増加や、来街者の減少により賑わいが失われ活力の低下を招いている。地域商業全体を底上げするための賑わい創出の取組が求められている背景を踏まえ、意欲的に商店街振興事業に取り組む商店街等に対して補助金を交付することにより、商店街や周辺地域の活性化を図る。
2 事業の内容	商店街等のイメージアップを図り、その活性化を促進するため、福知山市商店街等イベント事業補助金交付要領に基づき、商店街や商業者グループが行うイベント事業に対して補助金を交付する。1回の事業につき20万円を限度に補助。(補助率1/2以内) 地域の女性グループ等が企画・立案し、商工団体が連携して実施する活性化事業に対して、頑張る女性等応援事業補助金交付要領により1回の事業につき10万円を限度に補助。(補助率6/10以内)
決算額	補助金 1,435,000 円 (内訳: イベント事業 1,351,000 円、頑張る女性 84,000 円) 計 1,435,000 円
3 事業の成果	市内に賑わいを創出するとともに、活気ある商店街づくりに寄与することができた。 H28 年度実績 20 件 (内イベント補助金 18 件、頑張る女性応援補助金 2 件)
4 課題	商店街の空き店舗への出店の促進と、各個店の売り上げアップの取組になっていくことが必要。
5 H29 年度以降の予定	引き続き、商店街や頑張る女性グループの活動を支援することで、市内に賑わいを創出し、活気あるまちを創造する。
担当課による評価	C (効果があった)

No.17

事業名	起業おうえん事業	
担当課	農林商工部 産業振興課	
予算額	6,113 千円	
1 事業の背景・目的	<p>市内の事業所数が減少傾向にある中、市内で新たに事業を営む者及び創業支援事業者（福知山商工会議所・福知山市商工会）を支援し、起業及び雇用を促進することで産業の活性化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とする。</p>	
2 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業家支援事業補助金（市内で新たに起業する者に対し、広告宣伝費やホームページ作成費等の経費の一部を補助） ・ 創業セミナー（2回実施） ・ 起業おうえん助成金（創業関連融資利用者に対し6か月分の利子相当額を全額助成） 	
決算額	需用費 133,920 円（創業希望者向けパンフレット印刷・チラシ用色上質紙代） 役員費 239,976 円（地元新聞・情報誌等への広告費） 委託料 216,000 円（創業セミナー実施業務委託2件分） 補助金 4,985,000 円（起業家支援事業補助17件分） 助成金 366,994 円（起業おうえん助成10件分）	計 5,941,890 円
3 事業の成果	<p>創業者向けパンフレットの配布、地元新聞等への広告掲載や創業セミナーの開催を行い、実際の創業者数を平成27年度の12件から25件と実績を伸ばすことができた。</p>	
4 課題	<p>さらに起業支援制度等を広く市民や本市で起業したい市外の者に周知を強化する必要がある。</p>	
5 H29年度以降の予定	<p>福知山市創業支援事業計画（H27～H29年度）に基づき、ワンストップ相談窓口の機能充実や創業にかかる知識を習得できる創業スクールの実施など、創業支援制度等の充実を図る予定である。</p>	
担当課による評価	B（相当程度効果があった）	

No.18

事業名	佐藤太清記念美術館特別展事業	
担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課	
予算額	3,430 千円	
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山市出身の文化勲章受章者、名誉市民である佐藤太清画伯の作品を展示する佐藤太清記念美術館において、市民が文化・芸術に親しみ、触れ合う機会を提供するため、特別展示事業を実施。著名な作家の作品展示とすることにより市民の文化・芸術に対する関心を誘引すると共に、観光来訪者等による来館者増を図る。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>春季「はしもとみお彫刻展」、夏季「いわさきちひろ展」等、著名作家の作品展示により市内外から多数の入館者を得た。また秋季は市内在住の能面作家 堀安右衛門さんの「能面展」を開催し、隠れた文化功労者の作品展として大きな反響を得た。これら展覧会に併せてギャラリートークや体験ワークショップを開催した。</p>		
決算額	報償費 138,000 円 (講師謝礼) 旅 費 239,320 円 (講師旅費、担当者旅費) 需用費 797,429 円 (消耗品、チラシ・ポスター等印刷) 役務費 211,932 円 (保険料、郵送料、手数料) 委託料 571,980 円 (美術品運送) 使用料及び賃借料 520,360 円 (展示作品借用料) 負担金及び交付金 496,800 円 (展示開催負担金)	計 2,975,821 円
<p>3 事業の成果</p> <p>わかり易く、楽しく、魅力ある展示内容、ワークショップ等の市民参加型の体験会を実施した結果、多数の来訪者を得て美術館入館者数を前年度比1.5倍(H27:8000人→H28:12000人)に押し上げた。今後も魅力ある、訪れたい展覧会開催を目指して市民の文化・芸術に対する興味を引き寄せる。</p> <p>4 課題</p> <p>見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズに合致した企画運営を図り施設を有効的に活用する。図書館、学校等関連事業とともに連携して入館者数増につながる魅力ある特別展・展示内容が必要である。</p> <p>5 H29年度以降の予定</p> <p>引き続き魅力ある展示内容、芸術性あふれる作品展を開催し、福知山市の文化・芸術振興を進める。佐藤太清賞公募美術展、企画展示品等充実事業と連携して美術館運営を図る。</p>		
担当課による評価	B (相当な効果があった)	

No.19

事業名	福知山城憩いの広場（ゆらのガーデン）管理事業
担当課	農林商工部 産業振興課
予算額	5,251 千円
1 事業の背景・目的	<p>福知山城憩いの広場「ゆらのガーデン」を、テナントの出店者協議会や市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら中心市街地への回遊の拠点として、また、街のシンボルとなる“四季の彩に満ちた和み空間”として維持管理することにより、市民や来街者が憩える場を提供し、関連事業との連携により、まちなかへ誘導していくことで、活性化につなげる。</p>
2 事業の内容	<p>ゆらのガーデンの芝・植栽等の維持管理業務委託や日常的な清掃及び警備の業務委託、ガーデンの四季折々の草花の管理のためにガーデニングサークルに交付金を負担する。</p>
決算額	<p>需用費 1,153,944 円（内訳：電気水道、消耗品等） 役員費 277,492 円（内訳：電話代他） 委託料 1,939,807 円（内訳：植栽・芝等維持管理、警備業務、日常清掃業務） 工事請負費 696,600 円（内訳：施設改修） 備品購入費 285,012 円（内訳：ベンチ購入） 交付金 500,000 円（内訳：ガーデニングサークル運営）</p> <p style="text-align: right;">計 4,852,855 円</p>
3 事業の成果	<p>福知山市、ガーデニングサークル、福知山まちづくり株式会社、ゆらのガーデン出店者協議会が連携し、官民協働で維持管理し、良好な四季の彩と和みの空間づくりに努め、市民や来街者が憩える場を提供することができた。</p>
4 課題	<p>広場内店舗により結成されたゆらのガーデン出店者協議会により毎月行われる催事の認知度もあがってきており、集客人数の伸びも期待できることから、今後も維持管理を継続し、まちなかの活性化につなげるものである。</p>
5 H29 年度以降の予定	<p>今後も、ガーデニングサークルや福知山まちづくり株式会社、ゆらのガーデン出店者協議会と連携し、市民と来街者の憩いの場となるよう維持管理に努めていく。</p>
担当課による評価	C（効果があった）

No.20

事業名	福知山鉄道ポッポランド運営事業
担当課	農林商工部 産業振興課
予算額	2,901 千円
1 事業の背景・目的	「鉄道のまち」福知山を広くPRし、市内外からの来街者の誘導を促し、中心市街地活性化を図る。
2 事業の内容	福知山鉄道館ポッポランド及びポッポランド2号館の運営並びにポッポランドが行う企画イベントの実施、PRのための他イベントへの参加事業に対して補助金を交付する。また、旧福知山駅周辺のパノラマ模型（鉄道Nゲージ併設）の管理・監視、軽微な修繕、オートレール（パソコンソフトによる自動運転装置）の設定・調整業務を委託している。
決算額	報償費 100,000 円（内訳：2号館清掃活動謝礼） 需用費 38,086 円（内訳：電気水道） 委託料 709,560 円（内訳：パノラマ模型管理業務） 補助金 2,000,000 円（内訳：ポッポランド運営委員会補助金） 計 2,847,646 円
3 事業の成果	平成25年度には1万人を下回っていた入館者数が、鉄道OBによって組織された運営委員会みなさんの運営努力と、周辺イベントへの来客者の取り込みを図ったことで、現在17,000人以上に増えた。市内外からの中心市街地への誘客にもつながり、中心市街地の活性化に寄与している。
4 課題	土地及び建物は賃貸借物件であり、賃貸借契約の終了予定時期が平成30年3月31日の予定である。そのため、移転するのか、閉館するのかを検討する必要がある。
5 H29年度以降の予定	土地及び建物の賃貸借契約が今年度いっぱいまでであり、今年度中に移転・閉館の検討をする。
担当課による評価	C（効果があった）

No.21

事業名	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業	
担当課	農林商工部 産業振興課	
予算額	6,000 千円	
1 事業の背景・目的	<p>地方の商店街は、いずれの地域も郊外型やロードサイドへの大型店の進出、後継者難や店主の高齢化等により個店だけでなく組織としても新たな投資が困難となっている。このため、従来にない公民協働の新たな事業モデルを戦略的に組み立て実施することで地域経済全体の循環を促し、中心市街地の賑わいと交流人口の倍増を図る。</p>	
2 事業の内容	<p>中心市街地活性化に取り組む福知山駅正面通りの福知山フロント株式会社が、商店街をベースに空き店舗等の利活用を提案することで飲食店やゲストハウス等を開設するとともに、広域的な地域資源の活用によりインバウンド観光等を盛り込んだ新たな観光面での受け皿を構築する。</p>	
決算額	補助金 6,000,000 円（内訳：地域資源の活用と交流人口倍増戦略事業補助金） <div style="text-align: right;">計 6,000,000 円</div>	
3 事業の成果	<p>福知山フロント株式会社では、駅正面通り商店街の再生計画の策定、駅正面通り商店街（周辺含む）の空き店舗等の有無の調査（調査対象 71 件）、ゲストハウスの開設やテナントミックスの推進に取り組んだ。</p>	
4 課題	<p>空き店舗等へのテナント誘致の推進とゲストハウス等の宿泊施設へのインバウンド観光と誘客の促進及び魅力ある情報の発信に取り組む必要がある。</p>	
5 H29 年度以降の予定	<p>商店街の若手経営者を中心に設立された福知山フロント株式会社によって、一層のテナントミックスの推進と空き地を活用した事業の展開を図り、独自性のあるインバウンド観光戦略を進めるため、引き続き支援していく。</p>	
担当課による評価	B（相当程度効果があった）	

No.22

事業名	中心市街地テナントミックス推進事業	
担当課	農林商工部 産業振興課	
予算額	3,300 千円	
1 事業の背景・目的	<p>商店街の活性化と中心市街地の賑わいの創出、まちなか居住の促進を図るため、空き家・空き店舗等の有効活用を図る事業者に対し支援を行う。</p>	
2 事業の内容	<p>中心市街地活性化基本計画に基づき、福知山まちづくり(株)等が国庫補助金の採択を得て、空き家や空き店舗等を活用したテナントミックス等の事業を行う場合、民間の初期投資を軽減するための支援を行う。</p>	
決算額	補助金 3,300,000 円 (内訳：中心市街地テナントミックス推進事業補助金)	計 3,300,000 円
3 事業の成果	<p>駅正面通り商店街の古い旅館を改修して、福知山フロント株式会社が開設したゲストハウスに対して、全体事業費の 1/9 の額を補助し、平成 28 年 3 月に開業した。開業後、稼働率 60%~65%で推移している。</p>	
4 課題	<p>計画的及び継続的に、商店街等の空き店舗等を活用し、新たな店舗を増やし、まちの賑わいづくりを行っていくため、福知山まちづくり株式会社及び福知山フロント株式会社と情報を共有しながら事業展開を図る必要がある。</p>	
5 H29 年度以降の予定	<p>今後、中心市街地活性化基本計画に掲載の国庫補助を活用しての大規模施設の改修も予定されており、計画期間中は継続して支援していきたい。なお、平成 29 年度から「中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業」に予算統合した。</p>	
担当課による評価	C (効果があった)	

No.23

事業名	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク
担当課	農林商工部 産業振興課
予算額	8,235 千円
1 事業の背景・目的	<p>空き家・空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、それらを有効活用し、不動産の流動化を促し、まちなか居住の促進と商業活性化を図る。</p>
2 事業の内容	<p>中心市街地エリアの空き家・空き店舗等の情報を集約し利用希望者に紹介する。また、契約仲介手数料支援補助金及び家財処分費支援補助金を交付し登録物件の増加を図る。平成28年度からは、登録業務の運営をまちづくり会社に委託するとともに、空き店舗チャレンジ事業の統合、宅建協会に仲介業務の協定を締結することで不動産の流動化及び有効活用を推進する。</p>
決算額	<p>委託料 3,530,520 円（内訳：福知山市空き家・空き店舗等ストックバンク登録業務委託） 補助金 2116,000 円（内訳：空き店舗活用チャレンジ事業補助金 2046,000 円、まちづくり株式会社・特定会社による不動産流動化補助金 70,000 円） 計 5,646,520 円</p>
3 事業の成果	<p>中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産の流動化を進めるため、本事業は一定のニーズがあり、実績も伴っている。まちづくり株式会社に業務を委託することで、中心市街地の空き家・空き店舗物件を細かに調査・聞き取りが進み、平成28年10月からは、外部から出店者を誘引するためのイベントの開催（新町商店街ワンダーマーケット）にも着手した。また、空き店舗活用チャレンジ事業補助金を活用した新規出店が2件あった。</p>
4 課題	<p>登録物件数の増加及び利用希望者の発掘と宅地建物取引業者との連携を図る。</p>
5 H29年度以降の予定	<p>中心市街地でのテナントミックスやまちなか居住を推進するため、今後も継続していきたい。なお、平成29年度から「中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業」に予算統合した。</p>
担当課による評価	C（効果があった）

◆平成28年度推進交付金 京都府北部連携都市圏ステップアップ事業

K P I	(目標) 観光消費額 2,020,500 千円 ⇒ (結果) 2,095,285 千円 (H28 年) (目標) 高等教育機関等卒業者の圏域 (北部 7 市町) 内定者数 (人/年間) 72 人 ⇒ (結果) 33 人 (福知山公立大学 7 人、福知山市民病院附属看護学校 26 人) ※全体は舞鶴市で調査中
-------	---

No.24

事業名	SEA TO SUMMIT 事業 (海の京都スポーツ・トレイル推進事業)	
担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課	
予算額	740 千円	
1	事業の背景・目的 中丹管内の自然を活かした競技大会「SEA TO SUMMIT」(シー トゥー サミット) を、民間主導の運営で実施し、中丹地域内の周遊観光を促進します。	
2	事業の内容 参加者は舞鶴市の神崎海水浴場でカヤックを漕ぎ、自転車に乗り換え大江山グリーンロッジに、そこからハイクで大江山山頂を目指します。 開催経費の内、参加費以外の部分について、京都府が 1/2 を、福知山市・舞鶴市・綾部市が 1/6 ずつ負担金として拠出します。	
決算額	負担金 740,000 円 (中丹地域周遊観光促進負担金)	計 740,000 円
3	事業の成果 海外からの参加者を含め 146 名の参加を得て、前年度 (107 名) を上回る規模のイベントとなった。大江山山頂からの眺望に感嘆の声を上げる参加者も多く、本市の観光地としての魅力がアピールできた。	
4	課題 平成 27 年度・28 年度については大江山グリーンロッジにマルシェが開催され、市内業者の屋台が数件出店しており、参加者や従事者、地元住民など 540 人 (平成 28 年度、府調べ) が訪れたが、平成 29 年度については京都府の予算がつかず、大江山マルシェ自体が開催されないため、本市における短期的な経済効果はほぼないと言える。	
5	H29 年度以降の予定 京都府・舞鶴市・綾部市及び各市観光協会等との協調事業であり、H29 年度においても H28 年度と同様に事業を実施する。H30 年度以降については要検討である。	
担当課による評価	C (効果があった)	

No.25

事業名	福知山公立大額運営費交付金事業（圏域まるごとキャンパス人材育成事業）
担当課	市長公室 大学政策課
予算額	1,500 千円
1 事業の背景・目的	京都府北部地域唯一の4年制公立大学である福知山公立大学において、京都府北部地域をまるごとキャンパスに見立てて地域の課題を題材にフィールドワークを実施することで、地域に必要とされる大学として、地域課題の解決に向けた取組を行う。
2 事業の内容	京都府北部7市町圏域をまるごとキャンパスと見立てて、それぞれの地域の課題を題材にフィールドワークを実施します。
決算額	京都府北部地域におけるフィールドワークの実施に要する諸費用 計 1,500,000 円
3 事業の成果	福知山公立大学において地域課題の解決に向けたフィールドワークを行い、京都府北部地域へ福知山公立大学の知見を活用した取組を実施することで、地域に根付いた大学として広く周知を図った。
4 課題	特になし。
5 H29年度以降の予定	京都府北部地域において、地域課題の解決等に向けたフィールドワークを実施することで、広く福知山公立大学を周知し、活用される大学として、様々な事業推進を図る。
担当課による評価	A（非常に効果があった）

◆平成28年度推進交付金 地方創生拠点整備交付金（北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業、まちかどキャンパス事業）

K P I	(目標) プラットフォーム施設利用者数 30人 (目標) プロジェクトの新商品等の開発件数 1件 (目標) 府県を越えた自治体連携事業数 1件 (目標) まちかどキャンパス利用者数 30人 (目標) 住民連携取組事例数 1件 (目標) まちかどキャンパス事業を利用した新たな起業者数 1人
-------	---

No.26

事業名	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業（北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業、まちかどキャンパス事業）
担当課	市長公室 大学政策課
予算額	84,500 千円
1 事業の背景・目的	大学が様々な主体と連携・協働の活動拠点として機能を発揮するよう、大学図書館等の施設改修及びICT環境の充実強化に向けた取組を支援します。また、空き店舗を改修して、市民聴講を含む大学講義や市民講座等を実施するための「まちかどキャンパス」整備に係る取組を支援します。
2 事業の内容	(1) 北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業 生涯学習・活躍に資するキャリアアップルーム、大学等との共同研究ルーム、北近畿の企業や地域資源等のデータバンク活用ルーム等を整備する。 (2) まちかどキャンパス事業 旧市街地の空き店舗を改修して、市民聴講を含む大学講義や市民講座を開催や学生による連携・協働した地域課題の解決に取り組む活動拠点を整備する。
決算額	平成29年度への繰越事業のため平成28年度末での評価なし
3 事業の成果	
4 課題	
5 H29年度以降の	
担当課による評価	

◆平成28年度推進交付金 地方創生道整備交付金（北近畿の拠点“福知山”ネットワークを強化する道作り計画 ～広域連携の強化小さな拠点を結ぶ地域連携の強化～）

K P I	（目標）観光入込客数 801,580人 ⇒（結果）922,951人 （目標）森林整備施業面積 373ha ⇒（結果）400ha
-------	--

No.27

事業名	地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）
担当課	土木建設部 土木課
予算額	37,598千円
1 事業の背景・目的	市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化と災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図ることを目的としている。
2 事業の内容	地域再生計画に基づき、市道広小路勅使線、上荒河観音寺線、二瀬川大江山線、小倉線、土師新町24号線、天王線、下天津大呂線、岡ノ木線、笹場小野線、川北荒木線交差点について、道路改良等の事業を実施する。
決算額	工事請負費 上荒河観音寺線道路舗装改良工事 L=284m 18,264,960円 広小路勅使線道路舗装改良工事 L=400m 19,348,200円 計 37,613,160円
3 事業の成果	計画に沿って主要な観光地に至る市道の整備を行ったことにより、自動車や観光バス等の交通の円滑化を図ることができ、観光入込客数が増加し、KPIの年度計画を達成することができた。
4 課題	引き続き、地域再生計画に基づいて、整備区間の延伸、他路線の整備を進めることで、一層の誘客効果が見込まれる。
5 H29年度以降の予定	地域再生計画に基づき、市道広小路勅使線外7路線の工事、測量調査に着手する予定である。
担当課による評価	C（効果があった）